



— 笑顔あふれる明るい未来を目指します —

情 心をつむぐ あしたを織る



↑ HP

2023 年 7 月 発行 夏号 編集発行：公益財団法人あすて 豊田市本町本竜 43 Tel (0565) 52-0362

新年度
スタート！

4 / 1 「はじめの会」で目指す方向が提示されました

キーワードは「ものづくり」「あすてならではの」「SDGs 13」



★あすてとは：ボランティア精神をもって社会貢献活動をする人の集う施設です。

★あすてが社会貢献を目指すわけ：あすては 100 社以上の企業から賛助金をいただいて運営しており、それは企業から託された尊いお金です。あすてには企業に代わって社会貢献をしていく義務があります。

★あすての起源と地域ならではの「ものづくり」:

1966 年 12 月に勤労青年のお母さん役としてスタートし、現在、その頃の青年が次々と退職の時期を迎えています。会社を離れた彼らが、培ってきた技を今度は地域社会のために役立てる「場」を提供することは、あすての役割です。

★今後の方向：

- ①地域の特性を生かした「ものづくり」を通した社会貢献
- ②「あすてならではの」できることを！
- ③SDGs に沿った活動を。特に 13「気候変動に具体的な対策を」。節電、ペーパーレスなど

【第 70 回全国植樹祭で間伐材カローラ（実物大）走行！】4/29 @愛知県森林公園。

あすては、間伐材を利用した初代カローラ（実物大）を出展しました。これはあすての設立 50 周年を記念して各方面の協力を得ながら 2016 年に作成したものです。その後、クルマづくり究めるプロジェクトにより燃料電池とバッテリーを搭載することで走行も可能にしました。



今回の植樹祭セレモニー冒頭では、大村愛知県知事がこの間伐材カローラに乗って登場し、会場を大いに沸かせました。細部まで忠実に再現された間伐材カローラのインパクトは非常に強く、来場者をはじめ関係者にも大変注目されました。



▲間伐材カローラで登場した大村知事

【からくりグループ本格始動！メンバー募集中】

電気を使わずに歯車やてこの原理を使った「からくり」に特化したユニークなものづくりと子ども達への技術伝承を目指すグループが、今年度より本格的に活動を開始。現在メンバー募集中！活動：毎週木曜（問合せ先：あすて）



【企業のボランティア受入れ】6/1, 21 @あすて

刈谷市を中心とした中小企業の若い経営者でつくる「若芽会」13 名が、地域の環境整備を目指すあすてグループ「火倶野姫」と竹林整備のボランティアを



▲竹林を整備する「若芽会」

行いました。2 回目（21 日）は会員による竹林整備活動の報告と豊田理事長による「あすてボランティアが目指すもの」について座学が行われました。



— 笑顔あふれる明るい未来を目指します —

怱 心をつむぐ あしたを織る



↑ HP

2023 年 10 月 発行 秋号 編集発行: 公益財団法人あすて 豊田市本町本竜 43 Tel (0565) 52-0362

～特集～

砂漠化防止のための中国植林活動

—内モンゴル自治区—

10 年のあゆみ

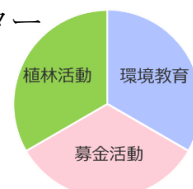


公益財団法人 あすて

あすては、地球温暖化や自然破壊など悪化する地球環境を少しでも良くしていこうと、2012年に「あすて地球緑化プロジェクト」を立ち上げました。あすて登録グループ「華豊の友」から提言のあった「中国の環境問題」がきっかけとなり「砂漠化防止のための中国植林活動」が2013年に始まりました。

植林場所「あすての森」は、内モンゴル自治区ホンシャントークー砂地にあります。人口増加による開墾や放牧の影響により砂漠化が急速に進行した結果、激しい砂嵐が起き、現地住民のみならず、黄砂となって遠く日本まで飛来し、私たちの生活にも被害を及ぼしています。

植林活動の他に2014年からは内モンゴル・アラシャン砂漠生態研究研修センター所長の富樫智博士の指導により現地の子ども達への環境教育プログラムを導入し、2016年には子ども達と実際に植林活動をするなど、現地住民の環境意識を高めていくことで持続的環境保全活動の仕組みづくりにも努めてきました。



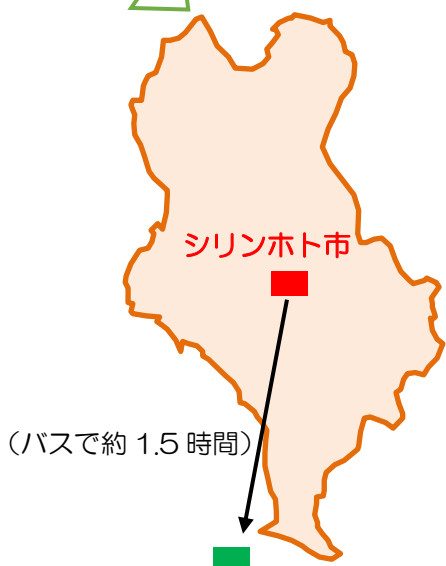
あすての森



←現地事務局
王さん

シリント市は、北京の北側、約 650 kmにあります。北海道旭川市と同緯となり、人口は約 25 万人の都市です。

植林活動を行う「あすての森」は、同市中心部より南に 100 km移動したホンシャントークー砂地の砂漠地帯です。



(バスで約 1.5 時間)

「あすての森」
ホンシャントークー砂地



森づくりへのステップ



ステップ1 :

こうりゅう

黄柳を基盤目状に植え、土台作り



新しい砂地で黄柳を基盤目状に根付かせて、砂を固定する。
年間計画：2万㎡に10万本。2019年までに73万5千本を植樹



ステップ2 :

ようざい

楊柴を植え、土へと醸成させる

黄柳を植えた土地に、マメ科の植物である楊柴を植えることで固定された砂を土へと醸成させていく。年間計画：5万本。2019年までに26万本を植樹



←根を張って
成長した黄柳
の内側に楊柴
を植える

→楊柴



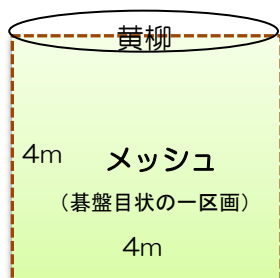
ステップ3 :

しょうじまつ

障子松を植えて森づくりへ

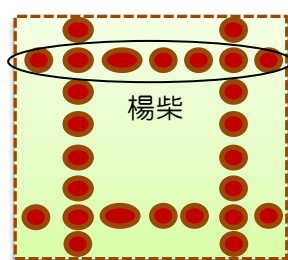
2014年度は試みとして障子松200本を植えた。2015年度以降の活動からはメッシュ中央へ障子松を植林して森づくりを行う。2019年までに12,350本を植樹

ステップ1



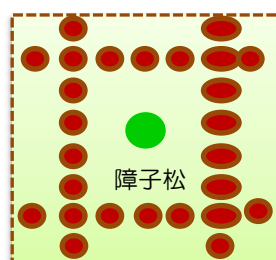
砂を固定する

ステップ2



土づくりを行う

ステップ3



森づくり
(3回目以降より)



将来の「あすの森」
イメージ

植林活動実績〔2012～2019 年〕

植林ツアー実施

年度	日 程	参加人数			植林実績（本）			募金件数			募金額	★特記事項 & ☆日本国内チャリティー特別企画
		日本	中国	計	黄柳	楊柴	障子松	個人	団体	計		
2012	現地視察 4/30～5/2	3		3				1	1	2	1,500,000	★事前の現地視察実施 ☆絵画展「曾剣雄の世界」(6/1～3)
2013	4/25～4/29	30	20	50	105,000			369	48	417	3,382,198	★植林活動開始 ☆「二胡の調べ」コンサート(10/6)
2014	4/24～4/28	24	43	67	100,000	50,000	2,000	18	159	177	2,976,982	★環境教育開始：シリント第1小学校生徒29名 ☆第1回地球緑化チャリティーウォーク(10/12) ☆みんなで創る音楽祭(11/15)
2015	4/24～4/28	30	55	85	100,000	50,000	2,000	20	162	182	4,594,354	★環境教育 & 交流会：シリント第1小学校 ★井戸建設：1基 ☆第2回地球緑化チャリティーウォーク(10/18) ☆中国雑技と音楽のタベ(11/15)
2016	4/27～5/1	20	53	73	100,000	50,000	2,000	13	50	63	4,013,463	★環境教育：シリント小学校生徒40名 ☆植林活動の功績を認められ中国大使館より表彰される ☆第3回地球緑化チャリティーウォーク(11/13)
	8/10～8/14	12	20	32			350					★夏季試行
2017	7/13～7/17	21	48	69	100,000	40,000	2,000	2	27	29	4,151,662	★環境教育：シリント第6中学高校生30名 ★井戸建設：1基 ☆第4回地球緑化チャリティーウォーク(10/15)
2018	5/17～5/21	16	41	57	125,000	20,000	2,000	8	44	52	3,392,335	★環境教育：シリント第1中学校生徒27名 ☆第5回地球緑化チャリティーウォーク(10/28)
2019	※ツアー中止				105,000	50,000	2,000					★2018年度中国内の寄付金を2019年度分として振替 ★ツアーは中止だが日本から6名が個人的に活動参加
合 計		156	280	436	735,000	260,000	12,350	431	491	922	24,010,994	

※中国の新たな法律「境外非政府組織境内活動管理法」の厳格化に伴い、2019年、日本の非政府組織が中国へ送金することが困難になった。ゆえにやむなく、中国・内モンゴル自治区砂漠化防止植林活動は、一緒に進めてきた現地法人(株)アイシン中国へ移管することになった。(2019年5月16日決定)

写真で追う 10 年のあゆみ

現地活動 & 国内活動



2012 4月 事前の現地視察



理事長（右から2人目）自ら現地確認！

6月1～3日
チャリティー
絵画展



↑ 曾氏によるデッサンの実演もありました。500名来場

あすてチャリティー絵画展
管剣雄の世界



2012年6月1日(金)～3日(日)
午前9時～午後5時(最終日は午後4時)
会場：公益財団法人あすて

2013 4/25～29



現地活動スタート！



↑ 黄柳の花



激しい砂嵐と一日の気温差が50℃という過酷な状況の中で、日本からの30名に現地20名が加わりスタート！ 背中に決意表明！事務局の王さん↑

10/6 華豊の友による チャリティーコンサート



4月の第1回植林活動の報告の様子

日中友好を目指す、あすてグループ「華豊の友」と共催により開催

2014 4/24～28



基盤目状に植えて成長した黄柳



日常の管理は現地の
牧畜民が担います

2016 4/27~5/1

現地で砂漠化防止のための環境教育



↑ シリンホト小学校の生徒対象にレクチャー（左）と植林活動（右）

夏季 8/10~14

はじめての夏季植林活動



現地事務所前。夏休みを利用して、日中の学生が多数参加



↑ 砂にはまった車を押し出す場面も



植林活動が中国大使館に認められ、表彰される。(4/5 右から任華豊代表、程駐日大使、豊田理事長、華豊メンバー2名)

2017 7/13~17

環境教育&ワークショップ

シリンホト第6中学高校生
30名が参加



2018 5/17~21



↑ 環境教育: シリンホト中学生27名が参加



↑ 第5回地球緑化チャリティーウォーク



成果



中国の新法「境外非政府組織境内活動管理法」の厳格化に伴い、2019年に活動の主体が（公財）あすてから現地法人憐アイシン中国に移管された。

2019～2022 年

活動の主体をあすてから現地法人・(株)アイシン中国へ移管



↑ 現地法人による植林活動



↑ 障子松を強風から守る防風柵を施す



↑ 少雨のため、水やりは大仕事

2023 年「あすての森」の 10 年を締めくくり、碑の除幕式(7/3)



↑ 「あすての森」10 年の活動を記念した碑の除幕式と理事長による記念植樹↑



後方の生い茂る緑は、10 年間植林してきた「あすての森」。これから順調に成長して、大地を潤す森へと成長することを祈ります。



↑ 活動に参加した現地法人有志の皆さん

植林活動の10年を終えて、様々な方法でかかわっていただきました皆様に心から感謝申し上げます。

地球緑化プロジェクト「砂漠化防止のための中国植林活動」を始めるにあたって、2012年4月、華豊の友の任さんと植林地となる内モンゴル自治区を視察しました。視察を終えようとした途端に砂嵐が起り、帰途の北京も黄色く霞んでいたの、これが黄砂となって日本に飛んでくるのだと実感し、中国植林活動の必要性を一層強く感じました。

早速翌2013年4月第1回の植林活動を実施。それから早11年の歳月が流れました。あゆみのアルバムを御覧いただいてもお分かりいただけますように、日本からのボランティアは156人、中国国内の参加者は280人、環境教育に参加してくれた子どもたちは126人と実にいろいろな方々に関わって頂きました。ありがとうございました。

植林に参加する人たちは、日本からの航空運賃や宿泊費を含めたすべて自己負担ですが、わずか3日間だけでは現地を緑にすることはできません。3日間以外の、植林地維持のために年間240万円、10年間で2400万円が必要となります。そのために、現地に行きたい気持ちはあっても行けない人たちが多くの賛同者にご寄付を募り、922の個人及び団体から募金をいただいて、7年間で目標額を達成することができました。

2020年～22年は新型コロナウイルス感染拡大のために現地へ出向くことはできませんでしたが、中国国内の方々に続けていただき、お陰様で予定の10年の活動を全うすることができました。そしてようやく移動が可能になった今年7月に現地で10周年のささやかな式典を挙行することができました。これまでの王蒙志氏の純粋に砂漠化を防止したいと思う気持ちとひたむきな姿勢に心を打たれて続けてくることができました。

最後に改めまして皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げ、報告書をお届けさせていただきます。

公益財団法人 あすて 理事長 豊田彬子



↑ 現地にて。後列左から矢木さん、王さん、
豊田理事長ご夫妻、朱さん
前列・任さん（華豊の友代表）



— 笑顔あふれる明るい未来を目指します —

心をつむぐ あしたを織る



↑ HP

2024 年 3 月発行

編集発行：公益財団法人あすて 豊田市本町本竜 43 TEL (0565) 52-0362

12/10⑩ 「あすての日」：全グループ参加して来年度以降の方針を共有 「ものづくり」「あすてならではの」「SDGs 13, 15, 17」



★あすての日とは：設立日 1966 年 12 月 11 日を記念してこの日を「あすての日」と定め、毎年、その前の週末にボランティアが集い、設立時の趣旨を思い起こし、それを現在、未来へつなげていく日です。

★時代の変化とあすての役割の推移：

1966 年設立時：故郷を離れた勤労青少年のお母さん

1990 年以降：入国管理法の改正により増加する外国人
勤労者の支援

2010 年以降：退職した技能者が社会貢献できる「場」

★来年度からの方針：

- ①「ものづくり」：定年退職者が長年培ってきた技術・技能を社会貢献に生かせる「場」
- ②「あすてならではの」：時代の変化を敏感に感じ取り、今一度、「あすてならではの」のことは何か、を考えて活動に取り組む。
- ③あすて SDGs： 13「節電、ペーパーレスなど」
15「自然環境を保護する取り組み」17「お互いに協力しながら誰一人取り残さず、みんなが笑顔になれる社会をつくる」

★Collina Naturale（自然の丘）の取り組みの紹介

【実行委員会】：丘の「場」を生かした種々のユニークな活動（例：見回りモビリティの実証実験、竹ドーム等）や維持管理を主体とする活動。
詳細は HP で。随時仲間を募集中！

～～ あすて × 森のプレゼント × 団体 ～～



施設に間伐材製品寄贈

あすては、間伐材を利用して社会貢献を目指すグループ「森のプレゼント」
及び各種団体と協力して市内外に活動を広げています。



◆豊田市地球市民会議 10 周年を記念して、鞍ヶ池公園にベンチ 5 脚を寄贈◆

豊田市には現在日本を含めて 75 ヶ国の人が住んでいます。その代表で構成する地球市民会議ではいろいろな国の人たちがそれぞれの文化を大切にしながらお互いに違いを認めて温かい街を作っていけるよう話し合っています。この度 10 周年を機に活動をもっと広く知ってもらおうと、あすてで製作されたベンチ 5 脚を寄贈。鞍ヶ池公園にて市長ご出席のもと、贈呈式が行われました (3/17)。→記念ラベルをベンチに打付ける市長 (右)



協賛：アイシン労働組合

寄贈先：中部善意銀行経由で西尾市内各施設へ

寄贈品：大人用ベンチを 10 脚

引渡し：8 月 9 日 (水) 里山の家 (西尾市) にて

協賛：豊田西ロータリークラブ

寄贈先：東山こども園、本地こども園

寄贈品：子ども用ベンチを 4 脚 (各 2 脚)

引渡し：3 月 7 日 (木)

協賛：(株)豊田自動織機

寄贈先：碧南市内の 16 保育園、幼稚園へ

寄贈品：子ども用ベンチ兼机を 24 脚

引渡し：9 月 21 日 (木)





2024 年度 期待の新事業



金 Koba

2023 年 11 月建屋完成

2024 年 4 月活動開始

金属加工を通して社会貢献を目指す「金 Koba」が、4 月より始動するにあたり、昨年 11 月に建屋が完成、12 月には中古工作機械 5 台他が㈱アイシンより貸与されました。

この事業は製作物に金属が加わることで、より社会貢献の幅を広げていこうというものです。



▲工作機械搬入の様子

外国人も母国の発展のために、ここで質の高い金属加工を活かした製作ができます。新年度より本格



稼働。参加者募集中！ ▲金 Koba(中央)と Collina Naturale(周囲)

～～ 2024 年度「金 Koba」関連 ～～

* オープニングセレモニー (4/20)

河合満氏 (トヨタ自動車㈱Executive Fellow) 講演
「ものづくりは未来をつくる」

* シニアロボコン AKIKAN CUP (5/25)

60歳以上、動力はモーター使用、ロボットによる缶、キャップ等の分別速さ、正確さを競う。一般観戦可。詳細は HP にて

* ボランティア募集中！会社で培ってきた

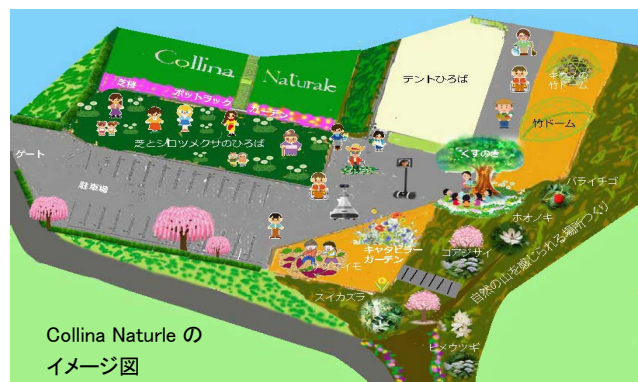
技術・技能をあすで活かしてみませんか！



Collina Naturale (自然の丘) 2024 年 4 月 6 日オープン！

旧本館の跡地を活かして、Collina Naturale (自然の丘) が、いよいよ 4 月 6 日(土)にオープンします。

2022 年度に有志によって実行委員会が組織され、どのような公園にするのかを熱心に話し合ってきました。そして、昨年 12 月に整地が終わると、4 月の開園時に花が咲くようにと、各分野のボランティアがさっそく植栽作業に取り掛かっています。



Collina Naturale のイメージ図

Collina Naturale のコンセプト

ここは自然のままの公園です。丘からの景色を楽しみながらお散歩したり、おしゃべりしていると、自然を感じることができます。この地域の草花や虫たちにも出会えます。

ここはボランティアさんたちが力を合わせて運営しています。みんなで思いやりの心をもって安全に過ごしましょう。